

第2号様式（第12条関係）

令和4年度第1回大和市街づくり推進会議 会議要旨

- 1 日時 令和4年5月28日（水） 14時30分から16時20分まで
- 2 場所 大和市市民交流拠点 ポラリス 大和市北部文化・スポーツ・子育てセンター Room3
- 3 出席者 9名
- 4 傍聴人数 0名
- 5 報告
 - (1) 今年度の予定について
 - (2) 都市再生整備計画 中央林間地区の事後評価について
 - (3) 地区街づくり準備会の登録について
- 6 議題
 - ・第21回大和市街づくり賞について
- 7 その他

会議資料

- ① 次第
- ② 資料1 令和4年度大和市街づくり推進会議の予定
- ③ 資料2 都市再生整備計画の事後評価について
- ④ 資料3-1 地区街づくり準備会の登録について
- ⑤ 資料3-2 市内地図
- ⑥ 資料3-3 つきみ野詳細図
- ⑦ 資料3-4 つきみ野街づくり構想
- ⑧ 資料3-5 つきみ野景観づくりの方針
- ⑨ 資料3-6 つきみ野景観まちづくりガイド（抜粋）
- ⑩ 資料4-1 第21回大和市街づくり賞について
- ⑪ 資料4-2 第21回大和市街づくり賞評価シート（案）
- ⑫ 資料4-3 街づくり賞リーフレット

■令和4年度 第1回 大和市街づくり推進会議 会議録■

[会議名称] 令和4年度 第1回 大和市街づくり推進会議

[開催日時] 令和4年5月18日(水)14時30分から16時20分

[開催場所] 大和市民交流拠点 ポラリス 大和市北部文化・スポーツ・子育てセンター Room3

[出席委員] 9名(欠席:2名)

[現地出席] 杉崎 和久/三浦 由理/江村 郁子/須賀 良二/山田 俊明/星野 澄佳/平田 章

[Web 出席] 黒石 いずみ/河村 奨

[欠 席] ホーテス シュテファン/大峰 英一

[事務局] 8名(街づくり施設部長、街づくり推進課長、街づくり総務課街づくり調査係1名、
街づくり推進課街づくり推進係5名)

[担当課] 街づくり施設部 街づくり推進課 TEL.046-260-5483

[傍聴者] 0名

[公開の状況] 公開

I. 会議次第

1. 開会

2. 報告

- (1)今年度の予定について
- (2)都市再生整備計画 中央林間地区の事後評価について
- (3)地区街づくり準備会の登録について

3. 議題

- ・第21回大和市街づくり賞について

4. その他

5. 閉会

II. 内容

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 報告

- (1)今年度の予定について
- (2)都市再生整備計画 中央林間地区の事後評価について
- (3)地区街づくり準備会の登録について

質疑応答(○…委員 ▼…市)

(1)今年度の予定について

事務局より、今年度の街づくり推進会議のスケジュールについての予定を説明。

(2)都市再生整備計画 中央林間地区の事後評価について

事務局より、中央林間地区の都市再生整備計画の事後評価について説明。

(3)地区街づくり準備会の登録について

事務局より、地区街づくり準備会の登録とつきみ野まちづくり委員会について説明。

○大和市みんなの街づくり条例制定の当初は地区計画や建築協定などのルール作りに向けて、地域の方が街づくりについて勉強してルール作りすることを想定していたが、改正時にルール作りだけでなく街づくりの具体的な活動に繋げていくことも想定した仕組みになった。つきみ野はその代表的な地区であった。ルール作りがゴールではない、ルールを作った後、どう持続的に地区の街づくりを進めていくかという展開で、今回つきみ野まちづくり委員会が登録された。条例に基づく地区の街づくりをこれからどうしていったら地域のためになるのか、今日は結論を出す議論ではないが報告を聞くだけではなく情報を共有したい。

○つきみ野区画整理から約 50 年経過し、2つの変化があった。1つは人の変化。当初の開発時期から住み始めた方は街づくりを熱心に行ってきたが住人の高齢化などに伴い減少した。しかし、最近は新しく若い年代の方が参加するようになり、今回の準備会登録に至った。2つ目は街の変化。地図を見ると線路から北側のエリアは当初から東急が中心となって整備された住宅地でその代表がつきみ野6丁目地区となる。南側エリアは真ん中辺りが同じように整備された住宅地で周辺は緑が多く当初から開発されていない生産緑地や公園だった。それがこの50年の間につきみ野6丁目地区のように地区計画にたどり着いた所もある一方、建築協定の区域は減った。また近年、農地や緑地、空き地がマンションや小規模な住宅になってきている。このような状況下で、新しい若い方の加入もあり、まち全体の変化を見据えて今後勉強をしながら、新しいまちのあり方を考えて色々で見直していこうということで準備会への登録に至った。

○世代交代で新しい方が新しい体制でスタートするとき、条例が用意している支援制度を活かしてスタートアップをしていこうという取り組みで登録されたということだ。

○質問が4つある。1点目は建築協定を締結している地域が高齢化に伴って、地区計画に移行したい、景観形成地区の方針や基準を作って維持をしていきたいが方針転換をどうすれば良いか、という相談が年々増加傾向にある。そうした背景のなか7か所ある建築協定区域のうち1つが、地区計画区域にあるというのはなぜか。地区計画の中で建築協定を運用するグループを作っているということなのか、地区計画に移行した時に建築協定の一部を残すという形をとっているのかなど、現状を教えてください。

▼最初は建築協定から始まっている。高齢化が進み自分たちで建築協定を維持できなくなってきたため、都市計画に位置付けたいと相談があった。つきみ野まちづくり委員会から派生して、つきみ野6丁目まちづくり委員会を作り検討した。地区計画は都市計画法に基づく規定で、細かな基準まで盛り込めなかった。建築協定が残っているエリアは、例えば盛り土の規制を残したいとのことで、自分たちで維持している。地区計画プラスアルファの規制をかけたいという方々が自分たちだけで纏まってルール化しているというイメージをとっていただければと思います。

○理解した。

○協定は切れても継続していくのか。

▼この地域は4つか5つの協定区域があったが皆さんやめられた。この1つだけ意識が強い。一番大きい問題は盛り土である。土地の嵩上げなどが起きないように規制している。

○この点が聞きたかった二点目につながる。大和市は景観計画があり独自の屋外広告規制などやっているが、つきみ野地区は景観地区あるいは景観形成地区などの指定をかけているのか。「つきみ野の景観づくりの方針」の中にある1から7の項目が漠然としている。例えば景観計画の中で景観形成基準を設けるともう少し具体的になり、盛り土規制や壁面の色など基準を設定することができ、建築協定と合わせて皆さんが望む地区の様相が保たれてくると思うが、景観法に基づく計画はどうなっているのか。

▼景観計画に関しては市内で特別な地域を定めているところはない。景観の形成方針というものを用途地域ごとに定めており、商業地・複合市街地・住宅地・田園緑地と大きな4つの括りを景観の形成方針として定めている。地域に即した独自の方針まで現在は定めていない。

○特につきみ野で景観形成地区指定をかけていくということは今のところないのか。

▼今のところない。

○例えば、周辺と調和しない景観はどういう景観なのか、と具体的に議論できないと好き嫌いのお話になる。がちつと決めなくていいが景観で定められることはたくさんある。そのようなことを活動の中に盛り込んで専門家を派遣などされたらどうか。

○「つきみ野 景観まちづくりの方針」は10年位前に作成したもので、現在はこの1から7の項目に対する意識が半減しているように思う。

○以前、東急沿線では「街並みコンテスト」のようなものを開催していた。そういったことも取り入れてはどうか。

○そのような議論は何度か出たが、まずは公共空間である道路の方面から始めていくことになり、「チューリップ作戦」を行った。それに加えて個人でもできることはないかと議論しているところである。

○承知した。3点目が、つきみ野区域図にある「つきみ野まちづくり委員会」区域外の自治会とは連携があるのか。

○連携はない。通知や案内は一緒に出しているが、共同で何か行うことはしていない。

○最後の4点目、活動経過は長いが方針などを見直す予定はあるのか。

○世代交代が進む中で見直しが必要だと認識しているが、まだ具体的に動いていない段階である。

○承知した。

○日常的に専門家派遣など市のサポートを受けているのか。

▼月一度の委員会に参加させて頂いている。今後も引き続き必要に応じて参加させていただく予定だ。

○他に何かあるか。

- これまでは長年自主的な組織だったが、ここで準備会に登録された。この準備会に登録されたきっかけについて教えてほしい。
- 新しく加入した若い世代がこの制度を活用したいという意見がきっかけだ。
- この件は報告事項なので、今後も引き続き途中経過の報告をお願いしたい。

4・議題

・第21回大和市街づくり賞について

事務局より、「第21回大和市街づくり賞について」を説明。

質疑応答(○・・・委員 ▼・・・市)

○現在の応募は何件あるか。

▼現在の応募は3件だ。

○応募が10件程度の場合は第2回の会議で全て決めてよいのではないか。応募が多数の場合、応募書類と写真で審査して10件程度に絞り、現地に行き採点しようというのが現段階での事務局の案ということである。応募件数を増やすアイデアはあるか。

▼来週開催予定している大和市街づくりサポーターの集いで案内予定だ。また、6月末に開催予定している街づくり学校特別編居場所セミナーでも案内・リーフレットの配布を予定している。

○現在応募があった3件は、事務局から見て用紙に記載されている趣旨が伝わっている書き方をしているか。

▼趣旨は伝わっている書き方をされているように思う。

○応募の3件は一人で3件か。

▼3名が1か所ずつ応募された3件だ。

○リーフレットについて、国際化協会等には出せたか。また、他に個別に出せる場所はないか。

▼国際化協会と市民活動センター等には配架を依頼して配布、市内に関係するNPO法人には郵送にてご案内したが、まだ反応はない状況である。

○直接、伺ってご案内はしていないのか。

▼現段階では直接伺った所はない。

○委員の方に10部ずつ配布するのはどうか。やれることはやった方がよいのではないか。

▼他の周知について、7月のPRボードにポスターを掲示予定だ。また、ヤマトン Twitterにも掲載している。

○委員の皆様も周知に協力してほしい。審査について、5段階評価はどうか。人によって基準が異なるのではないか。

○10段階評価のほうが良いのではないか。近い点数の人と議論できる。

○点数を入れたら合計点で決めるということではどうか。

▼そのとおりだ。

○一度点数を出したうえで、議論したほうがよいのではないか。

○居場所は個性的なものから一般的なものまでであるから、そこに点数をつけるのはどうか。賞という概念、選ぶという行為、居場所はプライベート、といろいろ矛盾している。点数をつけることはやめたほうがよいのではないか。推奨、支援するものを選ぶという方がよいのではないか。

○採点した点数を外に出すのではなく、選ぶ際の基準として点数をつけるということだ。募集は既に行っているため、その中でやらざるを得ない。前回決めた4つの選定の視点を基準点として明示することで、これが大事

だと示すことになる。点数を入れるかはともかく、この4つの基準を取り入れないといけない。

○趣旨は理解している。外に出さない前提としても点数をつけるのはどうか。審査の方法について、他の方法がないか決めたい。

○もう募集しているのでこれで行う必要がある。審査の方法はこれから決めていきたい。点数以外の決め方はあるか。

▼点数以外の審査方法だと、多数決になってしまう。

○多数決と点数をつけるのは別の概念なので多数決は良いのかもしれない。選択する側の責任も伴うから、単純な抽象化した点数はつけないことになる。

○何件の受賞を想定しているか

▼予算は4件を想定している。4件に囚われることなく多少前後することは問題ない。

○一人一票を持って4つ投票するやり方もある。

▼点数を出さずに集計を行い、議論していただいて4つを決めてもらうやり方もある。必ずしも順位を決める必要性はない。

○議論をしやすいように点数をつけるのか、つけないか。最終的な決定を点数が上位のものにするのはやめた方がいいのか。途中で議論をした方がいいのか。投票もやり方は色々ある。横浜市では絶対評価というやり方にしているが相対評価というやり方もある。

○私は絶対評価がいいと思う。この4つの視点を評価する時、4つのバランスが取れていることを評価できる施設と、例えば多様性は感じないが、つながりは他の施設よりも強く感じる施設というように議論するときに軸がないと、まとまらないことが想像できる。方針自体には問題がないと思うがどうか。

○絶対評価を入れると点数のようになってしまう。相対評価にすると関係性が難しい。どちらがよいか。

○委員が一人3つくらい自分のお勧めを決めて各自なぜそこがいいと思ったのかプレゼンするという案もある。

○他の意見を聞くのも良いが最終的な決め方はどうするか。

○一位、二位、三位と順位は決めるのか。

▼決める予定はない。

○同じ施設に複数応募があった場合、議論や一次選定をするまでもなく候補の一つになるのではないか。

○議論後に決めるのが良いが、うまく決まらないこともある。例えばコンクールの決選投票で決める場合は点数を参考にすることもあるが、点数で順位を決めず議論で決めることが多いのではないか。点数をつけて評価することに抵抗がある場合、点ではなく数直線だけ書いて数字を入れずに審査員ごとに事由に使ってもらい、各人の中では評価がわかるという運用はしたことがある。

○一回目は個々に参考として点数を入れてみても良いのではないか。その後、お互いの点数を見ながらディスカッションするのも良い。

○今日それを決めなくても良いと思う。一次選定シートをどうするか。例えばポラリスが良いと複数応募があった場合どこを見学するのか。

▼現地調査の時は対象施設を見学していただく予定だ。

○同じ場所に複数の推薦があった場合、選定用シート1の一つの欄に複数の方の意見が記載されているのか。それとも一人ずつの意見に分かれて記載されているのか。

○行く場所を決める時に写真は先に見られるのか。

▼写真と応募用紙を別途用意するのでそちらをご覧ください。応募ごとに番号を振って記入していただく予

定だ。メモの欄は必要に応じて記入していただく欄として活用していただきたい。

○このナンバー1とか2は、応募ひとつに対してひとつなのか。

▼そのとおりだ。

○例えばシリウスが1番と4番、8番に入っているということもあるのではないか。

▼想定される。

○それでは見にくいので施設ごとにまとめてもらいたい。

▼承知した。

○たくさん応募があった場合、書類審査となるため居場所ごとに編集していただいた資料が必要となる。シリウスの応募が30人の場合、30人の意見が整理してある資料と写真が欲しい。

▼応募の概要をまとめたものと写真ひとつを一件のシートのような形で、30件なら30件分のシートを皆さんにお出しする。それを見て選定シートにご記入いただくということになる。

○これが12件とかなら第2回で全て決めた方がいいのではないか。12件全てに行くのは無理なので対話しながら決めた方がいい。

○応募が30件でも同じ場所が複数の場合、結局行く場所は10件だったという可能性はある。また、場所が近くて一緒に見に行くことが可能な場合もあるので、今ここで何件見学に行くと決めなくても良いのではないか。

○応募が揃った段階で地図にプロットしてもらい、それを見ながら行く場所や件数は決めたらどうか。

▼承知した。

○応募した人にインタビューしないのか。居場所は個人的な趣旨で応募してくるのでインタビューをしないと現地に行っただけで理解するのは難しい。

▼書類選定していただいた後現地調査に行き、日程が合えばインタビューさせていただけたいと考えているが、まずは選んでいただいてから調整したいと思う。

○インタビューする相手は応募者本人か。

▼応募者本人だ。

○今この段階で応募が10~20件あると想定して議論しても決めかねる。まずは事務局に応募数を増やすよう頑張ってもらいたい。

○次回の会議で選定に入らないといけないので、件数が多い場合を想定してある程度決めておかないと次に進めない。現地に行った時に困るので事前にインタビューをしていただけるのか。

▼応募の内容にもよる。365日やっている場所なのか、スターバックスのような場所なのか。その種類によって事務局のほうで方向性を示しながら相談させていただきたい。

○たくさん応募があった場合、現地は全部見られないという前提で書類審査がある。書類がきちんと書けているものが有利になるのは仕方ない。現地に行くのが何件になるのかを整理した上で次に進みたい。

4. その他

・事務局より事務連絡

5. 閉会

以上